

科目名	日本文化論		英文表記	Japanese and Cultural Theory		平成29年3月8日	
科目コード	6003						
教員名: 澤井 万七美						作成	
技術職員名:							
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科	4年	必	学修	2単位	講義	前期	
科目目標【MCC目標】	世界から注目される日本の文化の現状と課題を考察する。 ①文化と社会の関係をより深く知る。 ②文化をベースにした多様な情報発信の可能性を考える。 ③ディスカッションを通して、より多角的な思考を深める。 【Ⅲ-A】【Ⅲ-C】【Ⅶ-A】【Ⅶ-B】【Ⅶ-C】【Ⅶ-D】【Ⅶ-E】【Ⅸ-F】【Ⅹ-A】						
総合評価	ディスカッションのベースにもなる各回のコメントシート(10%)、施設見学ごとのレポート(20%)、オリジナル企画のプレゼンテーション(30%)、期末に提出するレポート(40%)によって評価する。						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	50%	① 文化と社会との関係を多角的に捉える視点を持つことができる。	プレゼンテーションおよびレポートによる評価	「文化」の定義ならびに古今東西の社会との関係について理解し、独自の視点で課題を発見することができる。	「文化」の定義ならびに古今東西の社会との関係について理解し、課題を発見することができる。	「文化」の定義ならびに古今東西の社会との関係について理解することができる。	
50%	② 文化を活用したプロジェクトの立案・プレゼンテーション・レポート作成を通じて、発見した課題とその解決方法を他者に伝えることができる。	プレゼンテーションおよびレポートによる評価	文化を活用したオリジナルのプロジェクトを立案し、プレゼンテーションおよびレポートそれぞれの形式で、他者に効果的に伝達し、質疑応答にも適切に対応した上で、自己改善をすることができる。	文化を活用したオリジナルのプロジェクトを立案し、プレゼンテーションおよびレポートそれぞれの形式で、効果的に他者に伝達し、質疑応答にも対応することができる。	文化を活用したオリジナルのプロジェクトを立案し、プレゼンテーションおよびレポートそれぞれの形式で、他者に伝達することができる。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	(2)創造力を備え、自ら創造したものを表現できる人材を育成する。		
		◎		○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	70	30	100	
基礎的理解				40		40	
応用力(実践・専門・融合)					15	15	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					15	15	
主体的・継続的学修意欲				30		30	
授業概要、方針、履修上の注意	前半期間(科目目標①②に相当)は、主に講義とディスカッションを交えた形式をとる。 後半期間(科目目標③に相当)は、近隣の施設見学と特別講義を組み入れ、現場の状況を学ぶ。 ゴールにおいては、各自新たな【文化プロジェクト】の提案を行う。PPTを用いた口頭発表・学生間相互評価を受けてのレポート提出を課す。						
教科書・教材	教員編成資料 校外学習で訪問する現場						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	ガイダンス・日本文化概論(1)	2	授業の進め方 「文化」とは何か【IX-F】	教員指定の 資料通読	
2	日本文化概論(2)	2	日本文化の特質① 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】		
3	日本文化概論(3)	2	日本文化の特質② 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】		
4	文化と経済(1)	2	経済活動における「文化」 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】		
5	文化と経済(2)	2	文化と産業をめぐる世界の現状 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】		
6	文化と経済(3)	2	沖縄における産業と文化 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】		
7	事例研究(1)	2	外部施設見学(1) 【IX-F】【VIII-D】	見学レポ ート作成	
8	事例研究(2)	2			
9	事例研究(3)	2	さまざまな文化施設 【IX-F】【VIII-D】	教員指定の資 料(サイト)通読	
10	事例研究(4)	2	外部施設見学(2) 【IX-F】【VIII-D】	見学レポ ート作成	
11	文化政策(1)	2	文化政策概論 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】	教員指定の 資料通読・ 発表準備	
12	文化政策(2)	2	世界各地の文化政策 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】		
13	文化政策(3)	2	日本／沖縄の展望 【IX-F】【VIII-A】【VIII-B】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】		
14	発表(1)	2	文化プロジェクト発表／質疑応答／相互評価 【IX-F】【IX-F】【VIII-A】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】【X-A】	レポ ート化	
15	発表(2)	2	文化プロジェクト発表／質疑応答／相互評価 【IX-F】【IX-F】【VIII-A】【VIII-C】【VIII-D】【VIII-E】【X-A】		
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	教員指定の資料通読			各3時間×10回	
②	見学レポート作成			各4時間×2回	
③	文化プロジェクトの立案・発表準備			各4時間×3回	
④	レポート化			各10時間×1回	
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分＝1、90分＝2)

前期科目は前期部分のみ記述、後期部分は後期のみ記述し、実施期間が見た目
すぐにわかるようにする。(開講しない時期は空欄)